

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	重心通所ひだまり		
○保護者評価実施期間	令和7年7月1日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和7年7月1日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月16日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々のニーズに対応しやすい環境です。	個々の発達課題や興味のある活動を展開しています。	職員の研修を充実させていきます。
2	利用者のその日の体調を考慮した活動を行っています。	小集団(生活介護と合わせて1日定員6名)のため、様子に応じて対応が可能です。	活動の工夫を行っています。
3	異年齢(生活介護)との関わりを楽しめます。	年齢差のある(年上の方)との集団での活動の中で、それぞれが楽しめるように努めています。	活動の工夫を行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	受け入れ人数を増やすことが難しいです。	生活介護との多機能型として運営しているため。	必要に応じて、規模の拡大も検討していきたいと思えます。
2	地域交流の活動については、積極的には取り組めていません。	利用日数を増やせないため、どうしても地域交流の機会を設けにくい。	必要に応じて今後検討していきます。
3	感染症が発生した場合、事業継続のため、配慮が必要です。	入所施設と建物が同一のため。	感染症対策(消毒や換気)を徹底し、状況に応じて部屋までの動線を工夫します。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 豊心通所ひだまり

公表日 令和8年3月16日

利用児童数 令和8年2月28日 2名

回収数 2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	○					
	2 職員の数等は適切であると思いますか。	○					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	○					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	○					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に依じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	○					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	○					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	○					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	○					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	○					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	○					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。					○	現在は地域のこどもの交流機会は設けていない為、今後は地域資源の活用を含めて検討していく。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				○		現在は家族支援プログラム等の実施は無い為、今後は保護者への情報提供や参加できる機会の創出について検討していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	○					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				○		父母の会等の活動は実施していないため、保護者同士の交流の機会について今後検討していく。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○					
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。			○			法人での広報を発行しています。日々の連絡は「連絡帳」を使っています。評価票は玄関ホールやHPで公表しております。
非常時 等の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				○		各種マニュアルは整備しているが、保護者への周知が不十分でない可能性がある為、引き続き、分かりやすく周知していきます。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				○		放課後等デイの方は、参加の機会がほとんどありません。今後、実施日等見直ししていきたいと思っております。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。				○		安全確保については努めています。保護者への周知が不十分でない可能性がございます。引き続き、分かりやすく周知していきます。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。				○		事故等が発生した場合は、早急に連絡いたします。日々の様子は、お迎え時にお伝えさせていただいております。
満足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	○					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	○					
	29 事業所の支援に満足していますか。	○					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	重心通所ひだまり				公表日	令和8年 3月 16日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		小規模が故の近い距離間を活かし、様子を把握しやすい配置にしている。活動内容に応じて机やマットの配置を変更しています。	生活介護との多機能として運営しているため、狭く感じる時があります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		国の人員配置基準に応じて、職員配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		事業所内はバリアフリー基準を満たした設計になっています。また、室内での活動がわかりやすいよう構造化された空間が作れるよう、心がけていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		感染症対策のため、消毒や換気を徹底しています。室温も当日の体調に合わせて調整し、加湿器も使用し、湿度調整を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		可動式の衝立を利用できるようにしています。個別の部屋はありませんが、それぞれが過ごしやすいように工夫しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		PDCAサイクルを心がけ、毎日職員間で情報共有しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所評価アンケート調査を行い、結果を公表するとともに、職員間で共有し、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な会議にて意見聴取しています。また気になったことについても、報告、相談、検討しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は実施できておりませんが、外部の相談支援専門員や専門職からの意見もお聞きし、業務改善に努めています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修や内部研修へ積極的に参加し、職員の質の向上に努めています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページに公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		ご本人や保護者とコミュニケーションをとり、関係機関とも情報共有したうえで、支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		毎日、全職員でその日の情報を共有し、支援を行っています。また、ケース会議にて本人の変化を追いながら支援プログラムの検討をしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		活動の前後に職員間で情報共有し、計画に沿って支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		一人ひとりの発達や状況に応じた課題設定ができるよう、日々の行動観察を記録し、活動のねらいや結果を共有できるようにしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域に配慮しながら、適切に支援内容を設定しています。	「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」にも、今後、力をいれていきたいと思っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		定期的に打ち合わせを行い、情報を共有している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		ご本人の状況に応じたサービス提供しています。季節やイベントを取り入れています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		こどもの特性に応じて活動形態を選択しています。	時間確保が難しい場合があります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		活動の前後に、職員間で情報共有し、計画に沿って支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に、職員間で情報共有し、計画に沿えるよう支援を検討しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		自発的な動きや、関りに対する行動をよく観察し、その様子や気付きを記録して、支援の検証や改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に一度見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		ガイドラインの基本活動を盛り込み、複数組み合わせ合わせた支援をバランスよく行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○		環境を工夫したり、問いかけや関りに気を配っています。こどもが選択するまでの「待つ」時間を大切にしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が出席しています。会議内容を職員で情報共有しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて各関係機関と連絡を取り、情報共有しています。	今後医療との連携も整えていきたいと思えます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			保護者を通じて情報を得ています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			最近では、該当するケースがないので、そのような機会がありません。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて情報提供できる体制を整えています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			必要に応じて、センターとの連携を図る体制を整えていきたいです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			必要に応じて、今後検討していきたいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や送迎時に聞き取り、様子も具体的に伝えていきます。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ご家族に対する研修の機会を提供できていない為、今後検討していきたいと思えます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明させていただいています。支援プログラムについても、説明させていただきました。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画の見直しの際に、意向をお聞きし、その内容に沿ったサービス提供をおこなっています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援内容の説明を行い、署名をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		適宜、ご家族からご相談を受けられる体制を整えています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	父母の会等はありませんが、通所時にはご家族同士で話がしやすいようにしています。	今後、検討していきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	相談や申し入れがあった場合は、電話や面談にて、迅速かつ適切に対応するように努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	法人での広報を発行しています。日々の連絡は、「連絡帳」を使っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	個人情報はファイルにまとめ、持ち出し禁止としています。個人情報の取り扱いについては十分注意するよう職員間で共有しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	一人ひとりの特性に配慮してコミュニケーションを行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	「ふれあいフェスタ」や「地域交流もちつき」など地域交流行事を実施しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	それぞれのマニュアルを確認するとともに、会議等で、一人ひとりの特性にあった対応について情報共有しながら訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	避難訓練を毎月実施しています。また、BCPを策定し、全職員へ周知しています。	放課後等デイの利用者は、参加の機会がほとんどありません。今後、検討していきたいと思います。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○	てんかん発作を踏まえた投薬準備など、緊急時における取り決めを保護者とおこなっています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食物アレルギーについては、契約時に保護者から聞き取りを行い、栄養士と情報共有しています。	医師の指示書については、今後アレルギーをお持ちの方が利用される際に、対応したいと思います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	避難訓練を毎月実施しています。また、外部、内部研修にも参加し、必要な備えを整えています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	口頭にて説明、お知らせしています。	引き続き周知をしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	ヒヤリハットを毎月事業所内で共有し、再発防止に向けて情報共有と検討を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	身体拘束については、毎月委員会で情報の共有と改善のための検討を実施しています。また、虐待防止のための外部や内部研修にも参加し、適切な対応を行うようになっています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	個別支援計画立案時に、職員で検討を行い、ご本人、保護者へ説明のもと同意書へ署名をいただいております。		